



株式会社リーテム 様 業種 サービス

「オフィスリンク 仮想PBXタイプ」でオフィスのフリーアドレス化を実現 スマートフォンを内線化し、業務アプリも活用 働きやすいワークスタイルを実現し、職場が活性化

課題

部署間の交流促進のために
オフィスのフリーアドレス化を検討

解決

スマートフォンを内線化してフリーアドレスを実現
社員間のコミュニケーションも円滑化

株式会社リーテム 様

【住所】 東京都千代田区外神田3-6-10
【URL】 <http://www.re-tem.com/>
【従業員】 135人



エリア 東京都

産業廃棄物に含まれる鉄や希少金属をリサイクル・リユースし、ビジネスを通じて環境保全に貢献するリーテム。「オフィスリンク 仮想PBXタイプ」でスマートフォンを内線化して、オフィスをフリーアドレスにするワークスタイルの改革に踏み切った。ドコモがバックアップした本プロジェクトの狙いや取り組みの成果を取締役CFOの依田富男氏、総務部部長の菊田哲彦氏に伺った。

—「オフィスリンク」を導入した背景を教えてください。

依田 2012年9月に本社の主要機能を現在のオフィスに集約しました。従来、別々のフロアに分かれていた環境コンサルティングや営業といった主力部署を1フロアにまとめ、部署間の交流、情報共有、コミュニケーションの活性化を図りました。新オフィスでは社員に固定した席を割り当てないフリーアドレス化を図り、固定電話機の大部分を削減すると同時に業務用ス

マートフォンを内線化して利用し始めました。その際、老朽化したPBX（構内交換機）はクラウドサービスであるオフィスリンクの「仮想PBXタイプ」に置き換えました。

—採用の決め手は何でしたか。

菊田 内線端末を持ち歩けるようになり、社員間の連絡が取りやすくなることを評価しました。また、会社の代表電話番号をそのまま使える点や、スマートフォンがそのまま内線端末にもな

る利便性に加えて、費用対効果を含め総合的に判断をしました。

—スマートフォン「ARROWS X」を採用した理由は。

菊田 屋外や工場でも利用するため、端末は防水性に優れていることが条件の1つでした。フィーチャーフォン（従来型携帯電話）ではなくスマートフォンを選択した理由は、音声通話用としてのみならず、グループウェアなどの業務システムが利用できるためです。

依田 外出する機会の多い営業担当者が携行するノートパソコンから社内システムにアクセスする際の通信用端末として、テザリング機能も利用したいと考えました。高速データ通信である「Xi」（クロスシイ）へ対応している点も機種選択時の要件でした。

リーテムでは情報漏洩防止策に端末管理サービスの「SPPM2.0」を利用している。また、クラウドサービス型の電話帳を活用し、顧客の電話番号や社内の内線番号はサーバー側で一元管理して端末にデータを残さないといったセキュリティ対策を講じている。

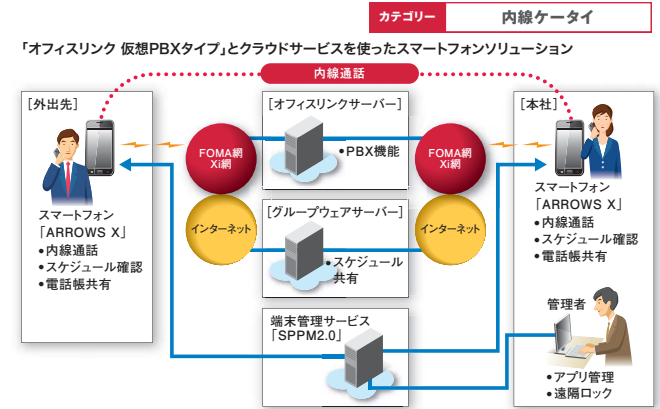
ワークスタイルを一新し、社員のモチベーションアップに

—導入後の効果を聞かせてください。

菊田 社員のワークスタイルが大きく変わりました。まず自由に持ち歩ける内線端末によって内線通話が増えるなど、社員間のコミュニケー



スマートフォンで内線番号による通話ができる



ションが円滑になりました。一括管理されているクラウド型の電話帳から簡単に相手の内線番号を検索できるため、大変便利です。加えて営業担当者は、スマートフォンからクラウドサービスのグループウェアを利用して、外出先でも社内と同様に業務を進められるようになり効率化に結び付けています。

依田 これまでIT化が遅れていた業務環境を大幅に刷新することができました。部門間連携を活性化し、社員のモチベーションアップにつながりました。PBXや固定電話機の廃止による維持管理費の削減と省スペース化、さらにペーパーレス化など費用面でも利点が多いと考えています。

—今後はほかの拠点への水平展開を見据えているそうですね。

依田 今回は本社だけでしたが、東京、茨城にあるリサイクル工場などほかの拠点におけるPBXも更改が迫っています。今後はそれらの拠点へもオフィスリンクによる内線ネットワークを

拡大していくことを考えています。
菊田 職場環境を一新することで社員には戸惑いも見られましたが、ドコモが随所でフォローしてくれました。今後は一緒に組みながら、働きやすさを向上させるための取り組みを継続していきたいと考えています。

株式会社リーテム
取締役 CFO
依田富男氏



株式会社リーテム
総務部
部長
菊田哲彦氏



担当からのメッセージ

株式会社NTTドコモ 法人事業部 第三法人営業部 代理店支援 第二担当
田中和宏

端末の機種選定などの場面で、実際に業務で使われる方の声を伺いながら導入支援を行いました。今後は、別拠点におけるPBX更改のお手伝いをさせていただきながら、業務効率化のお役に立てられるようにサポートさせていただきたいと考えています。



※「SPPM2.0」は株式会社AXSEEDの登録商標です